

弊社、株式会社 MMJ の生乳流通についての取り組み

2016 年 10 月 18 日

株式会社 MMJ

代表取締役 茂木修一

14 年前から俗にアウトサイダーと言われる指定団体の流通に乗らない取引を開始した。現在は年間約 8 万トン相当の生乳を購入、主に中小乳業に卸している。

全国の指定団体のシェアは 95%を超えるが、弊社は 1%程になる。

それでも近年、余剰期対策としての出費が大きくなったのと、業務用バターを必要とする菓子メーカーやベーカリーの要望があり、乳製品卸しを手がける食品メーカーと提携してバターと脱脂粉乳、ロングライフ牛乳の工場を建設する計画を立てた。現在立地条件など経済基盤について調査、検討中。

別紙、「生乳流通に関する提案」で将来の生乳流通を変える事で消費者のニーズに応えられる流通を実現し、酪農家には消費動向を迅速に伝える事で経営の指針にしていきたいと考えている。

今後、酪農家には販売先の選択という新しい変化が生まれる。

- 1、今までの生乳販共販体制
- 2、MMJ などの卸売会社、
- 3、乳業直接
- 4、ミルク市場(WEB 上のマッチングシステム)

など多岐に渡る。

自らの経営や地域に合った物流の再編が起こると思われる。

酪農業界はあまりに変化の少ない業界であったため、情報に乏しい地域や農家が多数存在する。弊社ではこれらの変化に対応するため、全国を包括的に柔軟に対応して行きたい。

以上